

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2022. 5
No.345

ビジネスのあり方を考える

最近、第4次産業革命と言われるくらい世の中が目まぐるしく変化しています。

そこで、『国民の底意地の悪さが、日本経済低迷の元凶』加谷珪一著の本に興味深いビジネスに関する考え方が書かれていましたので、CN(カーボンニュートラル)・EV(電動化)の世界に突入する中で考えねばならないことのように思い、皆さんに紹介いたします。

「日本社会は、不寛容で他人の足を引っ張る傾向が強く、多くの人が基本的に他人を信用していません。」

(中略)よく知っている相手だけに取引を絞り、狭い範囲で顔を合わせて経済活動するしか方法がなくなってしまう。

(中略)欧米社会では、見知らぬ相手でも、まずはビジネスをやってみようという雰囲気を感じられますし、過去に取引がない相手でも、利益があると思えば躊躇なく取引をスタートします。何か問題があった場合には、その時に考えればよいというスタンスです。

一方、日本企業の多くは、よく知っている相手だけに限定するというやり方でリスクを回避するケースが大半です。」

これらは、すべてではないと私は考えますが、今の日本の商習慣がベストではないこと、反省すべきは反省し、挑戦すべきは挑戦する必要があると考えています。

「欧米では付加価値の低い製品の製造を請け負った下請け企業は、合併などによって市場シェアを高め、元請けとの交渉力を高めようとします。あるいは一定価格以下の仕事は利益が出ないので断ってしまい、製品を供給する企業数が最適化されることで価格は下がらないことがほとんどです。」

今の我々の環境の中では、あまり考えられないビジネススタイルなのです。我々が今後生

き残っていくための施策の一つとして、頭に残しておくことが大切だと思っています。

「ところが日本の場合、互いに知った企業としか取引しないため、こうした市場メカニズムが働かず、下請け企業は、いつまでも価格競争力を発揮することができません。その結果、元請け企業は際限のない値引き要求を続けるという悪循環に陥ってしまいます。」

今の我々企業の実態を表していることのように思います。

だから、もつとイナテックの強みを整理し「物体」だけの販売ではなく、「お客様の困り事」を解決してあげられるイナテックのビジネスパターンをつくり営業をする、つまり単品釣り(一匹ずつ釣る)営業から網取り(カスターマーバリューを取る)に変化させなくてはならないということです。

第4次産業革命時代に我々の、営業のあり方を変え、ワンランク上のイナテックを創り上げましょう。

幸せを感じる方法

この記事は、私が日経新聞を切り抜いて取り置きしておいたものです。経済学者の大竹文雄さんへのインタビューを紹介いたします。

『日本の幸福度』調査で日本人は、20代から60代まで年齢が高くなるほど、幸福度が低いことがわかった。

(中略)逆に、欧米では30代を底にして上がっていく、U字カーブを描きます。(中略)同じ所得の人を比べると、若い人の方が幸せを感じる。中年が低くなり老年になると幸せの度合いが上がっていく。これが世界の共通のパターンです。」

人と比べない生き方を

『日本の幸福度』調査では、他の人の生活水準を意識する人ほど不幸だ、というデータが出ています。日本人はかなり上の人と比べてしまう。向上心は高まるかもしれないが、幸福感は下がる。米国人は同じか、もつと下を見るので、ハッピーになりやすい。だから、幸福であり続けるためには、できれば人と比

較しない。比べてもそんなに高い目標は掲げない。

(中略)在職時から貯蓄や資産運用、人脈作り、健康維持を工夫していた人の幸福感は高い。そうでない人とはぜんぜん違った。長期展望を持つことが重要です」

利他的行動をしよう

幸福度向上に、「すぐに効果が出るのが利他的な行動です。

(中略)自分の利益だけを守ろうとすると、幸福感は逃げてゆく。他人の役に立ち、社会のためになっているという感覚が幸福感を高めてくれるのではないだろうか。中高年が寄付などにお金を使って幸せになれば、お金が巡るようになって日本経済全体にもいい効果があると思います」

菜根譚後集

七六

詩思在瀟陵橋上、微吟就、林岫便已浩然。野興在鏡湖曲邊、獨往時、山川自相映發。

詩興のわくのは、瀟橋のような橋のほりである。かすかに詩を口ずさんでいると、あたりの林や岩あなまでが、すでに浩然として相和している。また、野趣の豊かな興味は、鏡湖の曲を賜ったような湖のほりである。そこへ独り行くと、山や川の風景が自から美しく照り映えている。

我々は、イナテックの社員の皆さんが、いかに幸福感を持てるようになってもらうのかを考えています。今回の記事の紹介が、イナテック社員の方々のライフプランの設計に役立っていただければ幸いです。

参考

国連が毎年行っている、世界幸福度ランキングにおいて2021年版における日本のランキングは56位となっており、ドイツ(13位)、英国(17位)、米国(19位)などと比較するとかなり低い位置であることがわかります。『国民の底意地の悪さが、日本経済低迷の元凶』加谷珪一著 より

